

(令和2年5月分)

種 類	市況の概況
<p>(水産物部の動向)</p> <p>水産物全般</p>          <p>鮮 魚</p>          <p>冷 凍 魚</p>          <p>加工水産物</p>	<p>5月は、水産物全体で入荷が減少したことから総入荷量は前年同月比で8%下回った。総取扱金額は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で業務用の需要が低迷したことから前年同月比で28%下回った。</p> <p>6月は、まいわしが旬を迎える。梅雨に入り漁獲された、まいわしは「入梅いわし」とされ、一年のうちで一番脂がのっている。他の魚と比べ鮮度劣化が早いですが、非常に多くのDHAやEPAを含んでおりカルシウムも豊富である。是非、刺身や煮物で御賞味いただきたい。</p> <p>鮮魚の入荷量は前年同月比で6%下回ったが、単価は需要が低迷したことから28%下回った。</p> <p>品目別には、さわら、ひらめの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。まだい(天然)、いさきなどの入荷量は前年同月を下回ったが、単価は新型コロナウイルス感染拡大の影響で需要が低迷したことから下回った。</p> <p>冷凍魚の入荷量は前年同月比で17%下回ったが、単価は需要が低迷したことから6%下回った。</p> <p>品目別には、冷さけ、冷えびの入荷量は前年同月を下回ったが、単価は新型コロナウイルス感染拡大の影響で需要が低迷したことから下回った。</p> <p>加工水産物の入荷量は前年同月比で7%下回ったが、単価は需要が低迷したことから16%下回った。</p> <p>品目別には、ちりめん、塩銀さけの入荷量は前年同月を下回ったが、単価は新型コロナウイルス感染拡大の影響で需要が低迷したことから下回った。</p>

※鮮魚には、貝類、淡水魚を含む。

主要品目	市況の概要
(鮮 魚) ま あ じ	愛媛，三重，大分で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で6％下回ったが，単価は品質の良いものの入荷が少なかったことから12％下回った。
ま い わ し	石川，鳥取で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月並みとなったが，単価は大型物の需要が低迷したことから5％下回った。
さ ば	三重，千葉で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月並みとなったが，単価は中小型主体の入荷となったことから6％下回った。
す る め い か	長崎，石川で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で79％上回ったが，単価は中小型主体の入荷となったことから前年同月並みとなった。
太 物	総入荷量は前年同月比で32％下回ったが，単価は需要が低迷したことから前年同月並みとなった。
けん さ き い か	長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で18％上回り，単価は25％下回った。
あ ま だ い	長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で22％下回ったが，単価は需要が低迷したことから20％下回った。

※太物：まぐろ，きはだ，めばち

主要品目	市況の概要
(冷凍魚)	
冷 さ ば	入荷量は前年同月比で8%上回ったが、単価は中小型主体の入荷となったことから前年同月並みとなった。
冷するめいか	入荷量は前年同月比で79%下回り、単価は36%上回った。
(加工水産物)	
塩 さ ば	入荷量は前年同月比で8%下回ったが、単価は、春まつりの延期等により需要が低迷したことから26%下回った。
身欠にしん	入荷量は前年同月比で47%下回り、単価は8%上回った。